

Hospital Information

柏崎総合医療センター／医師臨床研修／看護部



新潟県厚生農業協同組合連合会

 柏崎総合医療センター

患者さんが最善の医療を受けられるように努力します。
 温もりのある医療を提供します。
 患者さんの知りたいという気持ちを大切にします。

我々職員一同はこの理念を元に、患者さん本位の医療サービスにつとめます。
 高度医療の提供を目指し、地域の方々と共に歩みます。



コンテンツ

■ 柏崎総合医療センターについて	1 主な病院機能	4
	2 院内設備(医療機器)の紹介	5
■ 医師臨床研修のごあんない	1 研修目標/研修プログラム	6
	2 研修医教育	7
	3 研修環境	7
	4 臨床研修医募集要項・処遇	7
■ 看護部のごあんない	1 看護部理念/看護部方針/看護部長メッセージ/看護部の仲間	8
	2 新人看護職員教育方針/新人看護職員年間研修	9
	3 やりたい看護に挑戦できる	10
■ 活躍できる職場紹介	薬剤部/放射線科/検査科/リハビリテーション科/ソーシャルワーク科	12
■ 院内活動のごあんない	年間イベント/院内クラブ活動	14
■ 柏崎総合医療センター施設概要	病院概要/沿革/施設認定	15



柏崎総合医療センター
病院長

相田 浩

当院は病床数400床(うち回復期リハビリ病棟45床、地域包括ケア病棟47床)を有し、柏崎市および刈羽村を中心とした地域の約10万人を診療圏とする地域基幹病院です。

日本では少子高齢化がずっと叫ばれ、限界集落化している地域もあります。当地域も人口減少は大きな社会問題ではありますが、原子力発電所や大手企業などもあり、比較的緩やかな推移となっています。また医療面では新潟県は医師数が少ないと言われており、ことに我々のような地方都市では医師の確保やその他の職員の確保も常に大きな課題です。

そのような中で我々は、柏崎・刈羽地域の広範囲の診療圏を担当しており、以下のことを念頭に日々職員皆が協力しあい頑張っています。

- ①地域医療の維持:地域住民に必要とされる医療を提供し続けていくこと。医師会の先生方と協力し日常に必要な幅広い医療を提供していきます。
- ②救急医療の維持:救急搬送は地域の90%に相当する年間2000台以上を受け入れています。特に新型コロナ患者の受け入れ要請にはほぼ全例対応しました。
- ③透析医療の維持:地域で唯一の透析施設であり、透析を必要とする方も増加しており、今後も継続していかなければならない医療です。
- ④周産期・小児医療の維持:少子高齢化問題に最も関連の深い領域です。年間400件程度の分娩に対応しています。今後も地域で安全安心な分娩施設として維持していきます。さらに生まれた子供達の健やかな成長・発達を見守るため小児医療も維持していきます。
- ⑤災害対策:当院は過去に大きな地震に見舞われました。これを教訓にDMATが結成されています。実際に多くの災害現場へも出動しました。日常の避難訓練などにもその経験が生かされています。さらに原子力発電所の直近の病院として万一に備えた医療の在り方も検討しています。
- ⑥がん対策・緩和医療:当院で完結できるものはこれからも対応していきます。当院で対応できない一部の患者さんは高次機能病院へ紹介しています。放射線治療などでは遠方に通院するのは困難であり、今後も維持整備していきます。緩和医療については多職種連携チームである緩和ケアチームを中心に活動をしています。
- ⑦選ばれる病院をめざして:地域の方々から信頼され、選ばれる病院を目指していきます。かつ職員がいきいきとして働ける職場にできるような環境を整え、職員からも選ばれる病院となるよう目指していきます。

新潟県はしばらくの間、深刻な医師不足の状態が続くと言われていました。それでもこの地で地域医療を担うべく、医師・看護師はじめ全てのスタッフが頑張ってくれています。病院の理念の一つとして、「患者さんが最善の医療を受けられるように努力します」が掲げられています。最新の医療＝最善の医療ではなく、我々はそこに温もりや人間の情をもって最善の医療とすべく心がけています。このことをこれからも大切にしていきたいと考えています。

医療に関して安心して暮らしていける地域であり続けるには、ベテランスタッフの知識と技量が必要なのは勿論、次世代を担う若者の活力も欠かせません。我々と一緒に、急性期から慢性期まで、地域に密着した医療に従事してみませんか。

主な病院機能

救急病院



救急外来

昭和41年4月より救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)第1条に規定する救急病院の認定を受け当地域における救急医療の約8割を担っています。

災害拠点病院



トリアージ訓練

平成8年11月に、新潟県より災害拠点病院(地域災害医療センター)の指定を受け、災害時における多数傷病者の受入や、被災地への医療救護班の派遣を行っています。

DMAT指定医療機関



DMAT隊員(柏崎市総合防災訓練)

平成24年7月、新潟県より指定を受け、医師、看護師、業務調整員(医師、看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームを有しています。

臨床研修指定病院



研修風景

平成16年4月より、厚生労働省による基幹型臨床研修病院の指定を受けており、研修医の受入を積極的に行っています。また、大学病院や系統病院の協力病院にもなっており、短期での受入も行っていきます。

がん診療連携拠点病院に準じる病院

平成24年4月より新潟県から認定を受けがん相談支援センターを設置し、がんに関する様々な相談に応じています。令和元年12月には新潟産業保健総合支援センターと「治療と仕事の両立支援協定」を締結してがん治療と就労が並行してできるよう、体制を整えました。その他がん診療連携拠点病院と定期的に情報交換をし、患者さんやそのご家族にタイムリーに情報提供ができるようにしています。

保健事業



健診部門では、人間ドックや事業所健診を実施し、健康増進活動を行っています。人間ドック等各種健診の拡大と精度管理の向上を目指し、行政・医師会と連携した地域保健活動を推進しています。

2 | さまざまな症状を的確に診断する充実の医療機器。

院内設備 (医療機器) の紹介



CT

CANON社製 80列MDCT。検出器の多列化や再構成技術の進化により、胸部領域を最短3秒以内で撮影完了するなど、短時間かつ低被ばく撮影が可能です。



MRI

CANON社製1.5T MRI。高画質かつ、従来装置より撮影音が抑えられています。撮影空間は広い設計で、圧迫感が大幅に低減されています。人にやさしいMRIとなっています。



血管撮影装置

CANON社製・頭腹部用とPHILIPS社製・心血管用を所有し、それぞれ2022年3月、2023年4月に更新され、最新鋭の装置です。(写真はPHILIPS社製 Azurion7 M12)



マンモグラフィ

FUJIFILM社製。FPD使用による高分解能画像化、かつトモシンセシス撮影により、乳腺の重なりの影響で見えにくい病変も、明瞭に画像化できます。2023年3月に更新され、最新鋭の装置です。



放射線治療装置

VARIAN社製 LINAC。回転ガントリーとMLCにより、腫瘍の形に集中させた照射が可能です。抗腫瘍効果を保ちながら、正常組織へのダメージを軽減できる装置です。



透析用監視装置

東レ社製、ダブルチャンバー方式(除水制御)を採用し、安全性、操作性、高機能化、透析液の清浄化を高レベルで実現。

研修目標

「病気」ではなく、病気を抱えた「人」を診る医師を育てることが、当院での研修の目的です。

そのために必要な医学的知識と技術を習得することはもちろんですが、それだけではなく、「病む人」を全人的にとらえ、その人の生き方を尊重した上での対応を学んでいただけるよう指導します。



研修プログラム

プログラムの特徴

○柏崎総合医療センター研修プログラム

各診療分野における基礎的診療能力を重点的に習得できるよう指導します。2年目の自由選択では、希望の診療科を集中的に研修できる自由度の高いプログラムです。

総合診療コース

○総合消化器内科・基本手技(内視鏡・超音波等)アドバンスプログラム

2年目で、消化器病診療をやや深く掘り下げる特色あるプログラムです。総合消化器内科内視鏡センターを有する環境で、総合的な消化器疾患診療・消化器内視鏡検査を幅広く数多く経験できます。

○総合内科重点プログラム

2年目で、総合診療と救急診療を多く経験できるプログラムです。内科的疾患に重点を置きつつ、一般外傷・脳血管障害等の領域も研修。プライマリケアの実践を反復し、自己完結を目指します。

○柏崎総合医療センター 協力型病院スタートアッププログラム(1)

研修の前半1年間を湘南藤沢徳洲会病院で、後半1年間を当院で研修します。関東圏の都会型地域医療と日本海側の地方型地域医療の2つの異なる地域医療を経験し、広い経験と視野を養うことができるプログラムです。

○柏崎総合医療センター 協力型病院スタートアッププログラム(2)

研修の前半1年間を湘南鎌倉総合病院で、後半1年間を当院で研修します。都会と地方地域とのハイブリッド研修を通し、救急・プライマリケアを中心に臨床の基礎をしっかりと研修することができるプログラムです。

研修スケジュール (例)

(週)													
1年次	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	48	52
	内科						救急部門			外科	小児科	産婦人科	精神科
(週)													
2年次	56	60	64	68	72	76	80	84	88	92	96	100	104
	地域医療	自由選択											

*5プログラム共、1年次に必須診療科の研修、2年次には自由選択で希望に応じた診療科を研修。自由選択においては、プログラム毎に推奨する診療科あり。

必修科目

内科(24週以上)、救急(12週以上)、地域医療(4週以上)、外科(4週以上)、小児科(4週以上)、産婦人科(4週以上)、精神科(4週以上)

※一般外来4週を含む

一般外来の研修を行う診療科

内科、地域医療

研修協力病院・施設

協力病院

新潟大学医歯学総合病院、長岡中央総合病院、糸魚川総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、柏崎厚生病院、小千谷総合病院、けいなん総合病院、国立病院機構新潟病院、県立がんセンター新潟病院、県立中央病院、県立燕労災病院、県立柿崎病院、長岡赤十字病院、長岡西病院、横浜日野病院

協力施設

西山ふれあいクリニック、柏崎市国民健康保険北条診療所、関病院、柏崎保健所

※研修可能な施設は、プログラム毎に異なる。

2 研修医教育

ショートレクチャー

1テーマ約15分、毎週木曜日開催。
救急外来等で役立つ、研修医向けのレクチャーを
指導医が行います。



THE RESIDENT CIRCLE 不識庵

上越地区との4病院で作るコンソーシアム事業に加入。
研修医や医学生対象の様々なレクチャーや
ワークショップにも参加できます。



3 研修環境

- 研修医専用部屋あり
- 女性専用当直室あり
- Wi-Fi完備(研修医室はもちろん病棟でもOK)
- 学習環境充実(Up To Date、医中誌Web、
今日の臨床サポート、メディカルオンライン等)
- 院内にファミリーマートあり
- 宿舎斡旋あり(全額助成)



4 臨床研修医募集要項・処遇

病院ホームページをご覧ください。
<https://kashiwazaki-ghmc.jp/clinical-training/>



看護部理念

私たちは、患者さんの立場に立ち、思いやりのある看護を提供します

看護部方針

1. 自分で考え、行動できる人材育成

「看護職の倫理綱領」に基づき、専門職として意識と行動ができる人、社会人・医療職員としてのマナーを身につけ、患者・家族への対応を行う職員。知識に基づく正しい判断、正しい技術が実践できる人、専門職として能力を高め実践できる人材を育成する。

2. 安全・安心な看護サービスを提供できる

患者・家族の気持ちに寄り添い、適切な医療・療養上の世話を提供する。職員もここで働きたいと思える職場(やりがい感を実感できる)、病院にする。看護師としての特性を出して、患者さんから選ばれる病院になる。

3. 経営に参画し、組織の一員としての役割を遂行する

各自が時間管理を行い、自分の役割を認識して提案や行動することにより、職場・病院の活性化につなげる。

看護部長からのメッセージ



看護部長 認定看護管理者
金泉まゆみ

看護部は病院理念・看護部理念のもと、患者さん、ご家族や地域の方に対し、安全・安心なより質の高い看護サービスを提供するために日々努力をしています。患者さんの思いに寄り添い、その思いを尊重した看護の提供に努めています。入院前、入院中、在宅まで、途切れることのない連携を推進しています。

また、多職種との連携・協働は、「患者さんのために」何ができるのか、さらに職員間も、相手の立場に立ち思いやりを持つことができる豊かな人間性も高まっています。

看護職員一人ひとりが看護を通し、「やりがい」を感じ、自分らしく楽しく働くことをモットーとしています。幅広い看護を学ぶことのできる環境下で、看護の魅力を一緒に探求しましょう。

TEAM KASHIWAZAKI 5つの魅力

1

人間関係

チームワーク抜群！第三者機関から「人間関係の良さ」を認められました。

2

教育&フォロー体制

新卒・中途、どちらもしっかりフォローします。スキルアップできる制度が整っています。

3

子育て支援

院内保育所、病児保育施設を完備。育児中も無理なく働けます。

4

福利厚生・手当

休日数の多さや、各種手当、福利厚生には自信あります！

5

就職助成金

柏崎市などから、最大30万円の助成金+転居費用が交付されます。

看護部の仲間／総数 約360名

- 看護職：保健師・助産師・看護師・准看護師 (約300名)
- 介護福祉士・看護介護補助者(約50名)
- 院内救急救命士(3名)



院内救急救命士との協働



看護・介護補助者との協働

2 やさしさも一緒に育む、充実した教育環境。

“ともに学び、ともに育つ”が合言葉

当院ではプリセプターシップ+チーム支援体制を導入しています。基本的には、新人看護職員一人に先輩看護職員一人が精神面を中心に支援します。知識や技術は実地サポーターが中心となり、チーム全体で指導・支援を行います。誰にでも相談できるアットホームな環境づくりをしています。特

に看護技術など、職場の特性を活かしたチーム支援体制をとっています。

また、中途採用者も相談役とチームで支援をしています。

各教育を通し、支援を受ける職員も、提供する職員も、ともに成長する機会としています。

学習環境は“いつでもどこでも”幅広い学びの方法

off-JT



現場を離れ集合研修が効果的な研修は、off-JTで行います。仲間との交流もリフレッシュの機会になります。

OJT



日常の看護現場で、先輩や同期と学びを深めます。

多職種を理解するためにシャドーイングや研修の講師としても協力してもらっています。

リモート研修



厚生連全体でリモートでの研修・発表会にも取り組んでいます。

e-ラーニング

ナーシングスキルを導入しています。自宅のパソコン、またはスマートフォンで、いつでも看護技術の学習、講義を視聴できます。臨床での学び以外に自己学習できる機会があることでさらなるスキルアップにつながります。

新人教育方針

- 全員が、新人看護職員に関心を持ち、新人看護職員を支援し、ともに支え合い、成長する
- 基礎教育での既習内容と照らし合わせ、指導を受けながら安全な看護実践ができるように支援する



新人看護職員 年間研修

4月	入職時オリエンテーション 看護技術研修 シャドウ研修 救急看護・災害看護	10月	多重課題/SBAR 看護診断① 患者急変対応
5月	ME機器管理 薬剤・麻薬管理 夜勤前研修・夜勤研修	11月	看護診断②
6月	医療安全管理研修(KYT) 看護補助者との協働	12月	受持ち看護師の役割
7月	輸血研修 感染対策	10月 12月	院内留学
8月	褥瘡対策	1月	入退院支援
9月	看護記録(基礎情報) 医療安全(事故分析)	2月	エンゼルケア・グリーフケア
		6月 9月 2月	フォローアップ研修

3 やりたい看護に挑戦できる。

憧れていた手術室看護師になりました



学生時より手術室看護師に興味があり、当院のインターンシップで初めて手術を見学した時のことは今でも鮮明に覚えています。

憧れの手術室看護師は想像以上にハードでしたが、患者さんが安心して手術を受けられるようサポートすることにやりがいを感じています。

看護師として経験を積んでから助産師を目指す仲間もいます



柏崎地域で唯一の周産期医療を担う病院です。妊産婦さんの気持ちに寄り添い、思いやりのある助産、看護ケアが提供できるよう心がけています。

また、地域の保健師、助産師と連携し、妊産婦さんや赤ちゃんに切れ間ない継続した支援を行っています。

さらに産後ケア事業も開始し、地域の妊産婦の皆様が、安心安全に出産育児ができるようスタッフ一同努力してまいります。

DMAT隊員



当院では災害拠点病院として中越沖地震を経て、災害派遣チーム(DMAT)を立ち上げました。様々な職種が日々業務を行いながら、もしもの災害に備え準備をしています。

大きな震災を経験した柏崎ならではの地域・行政と連携した災害医療を目指しています。

地域連携支援部／入院支援センター／
訪問看護／患者サポート／居宅介護支援／
入退院支援

入院から退院まで、その後の在宅生活までサポートしております。また地域の医療機関からの連絡窓口、パイプ役として、患者さんが安心してスムーズに受診、受け入れできるように、各専門職が患者さんの支援や院内外の関係機関との連携に努めています。

さらなるステップアップも可能



写真①



写真②

- 写真① 左から
- 感染管理特定認定看護師
 - がん専門看護師
 - 救急看護認定看護師
 - 皮膚排泄ケア認定看護師

- 写真② 左から
- 糖尿病看護特定認定看護師
 - 認知症看護特定認定看護師



○災害医療学 修士課程修了者 2名

ママ・パパになっても働き続けられる職場環境



病院保育室 ♪ドレミ♪

先輩ママより

とてもアットホームな雰囲気
で、1歳の子どものすぐ慣れ、
毎日ニコニコで登園しています。
少数保育のため先生方が細
かいところまで見てくれて、安心
して預けることができます。



病児保育室 ♥ぴっころ

信頼してもらえるスペシャリストとして、活躍しています。



薬 剤 部

**入院患者を中心に、
多岐にわたる薬剤業務を。**

薬剤部は、薬剤師12名(パート2名)、事務員4名で業務を行っています。院外処方せん発行率は、約82%です。

入院患者中心の業務を行っていますが、外来および入院の調剤、がん患者の化学療法調製・レジメンの管理、注射薬個人セット、服薬指導など多岐にわたる業務を行っています。また、感染制御チームや、栄養サポートチーム等に所属し、多職種連携による患者サポートを行っています。



放射線科

**安心・安全な画像診断と
放射線治療を提供。**

放射線科は画像診断部門と放射線治療部門から構成され、放射線科医を中心に診療放射線技師、看護師、事務員など多職種が連携しながら日々の業務を行っています。

安心して放射線診療を受けていただくため、コミュニケーションを大切にし、受診者の負担軽減に対する取り組みを続けており、あわせて専門職として技術の向上に努めています。



検 査 科

**優れたチームワークで、
正確かつスムーズな検査業務を。**

検査科は、医師1名、検査技師23名、看護師3名、事務1名で業務を行っています。検体検査、生理検査、外来採血、迅速病理検査を主に行っています。一日の検体数は約250~300件です。信頼できる正確な検査データを迅速に臨床側へ提供できるように努めています。

チーム医療の一員として感染対策委員会や栄養サポートチーム、医療安全管理委員会、心臓リハビリテーション等に取り組んでいます。



リハビリテーション科

幅広い疾患の方を対象に、
症状に応じたリハビリテーションを提供。

リハビリテーション科は、理学療法士20名、作業療法士11名、言語聴覚士4名体制で業務を行っています。小児から高齢者まで幅広い年齢層、多様な疾患に対し、一人ひとりが安心・安全で充実した生活が送れることを目標に、術後早期からリハビリテーションを提供しています。

また、地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟にて回復期から在宅生活に向けての支援にも他職種と連携し、積極的に取り組んでいます。



ソーシャルワーク科

病気による様々な悩みや
課題について相談をお受けしています。

ソーシャルワーク科は社会福祉士が配属されており、患者さん、ご家族が安心して療養できるよう、心理的、社会的問題の相談に応じ、問題の解決に必要な援助を行っています。高齢者の介護に関する相談が比重を占めていますが、育児や教育、就労に関わる不安、生活の再設計など相談は多岐にわたります。

また院内外が多機関・多職種との協働・連携、ネットワークの構築・連携強化は医療ソーシャルワーカーの重要な業務・役割でもあり、当部署が持つ強みを生かしていきたいと思っています。

さまざまな年間イベントを企画、参加しています。



病院祭

年に一度、地域の皆様に病院を身近に感じていただくこと、「病院祭」を開催しています。生活に役立つイベントも企画しています。



地元・柏崎まつり民謡流し
積極的に参加しています。



忘年会

院内クラブ活動も盛んです。



バレー部

命を守る職場だからこそ、プライベートな時間の過ごし方も大切です。
好きなことを集中して楽しむことが日頃のストレスを解消してくれます。
さまざまなクラブ活動がありますので、趣味や特技を存分に発揮できます。

クラブ活動の一例

-
- バレー部
- 野球部
- テニス部
- ゴルフ部
- マラソン部
- フットサル部



テニス部



野球部



マラソン部

病院概要

施設名称	新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター
病院長	相田 浩
所在地	〒945-8535 新潟県柏崎市北半田2丁目11番3号 TEL/0257-23-2165(代表)・FAX/0257-22-0834
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、内分泌糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科
特殊外来	思春期外来(産婦人科にて)、睡眠「いびき」外来(心身医療科にて)
併設施設	訪問看護ステーション柏崎、居宅介護支援事業所、柏崎市中地域包括支援センター
病床数	400床(うち回復期リハビリ病棟45床、地域包括ケア病棟47床)、《人工透析》病床数:52床
建物概要	《建築面積》6567.47㎡ 《延床面積》23909.83㎡ 《敷地面積》22309.00㎡ 《構造》鉄筋コンクリート造 地下1階・地上7階建
指定・認定	救急病院(昭和41年4月) 災害拠点病院(平成8年11月) 臨床研修指定病院「基幹型・協力型」(平成16年4月) がん診療連携拠点病院に準じる病院(平成24年4月) DPC対象病院(平成24年4月) DMAT指定医療機関(平成24年7月) 原子力災害医療協力機関(令和2年9月)

沿革

昭和12年10月	有限責任 北越医療購買利用組合設立 刈羽郡病院開設(20床)
昭和27年 5月	組織変更 新潟県厚生農業協同組合連合会 刈羽郡病院
昭和49年 3月	柏崎市の委託病棟譲渡により改築
昭和53年12月	人工透析開始
昭和54年12月	診療棟増築(371床・56年11月370床)
平成 3年 5月	柏崎市北半田に移転新築竣工(440床)
平成 5年 4月	柏崎市在宅介護支援センター開設
平成 7年 6月	訪問看護ステーション柏崎開設
平成 8年11月	災害拠点病院指定
平成11年 4月	地域保健福祉センター開設
平成11年 9月	居宅介護支援事業所設置
平成12年12月	災害拠点病院施設(備蓄倉庫)増設
平成16年 4月	医師臨床研修病院(単独型)取得
平成16年 9月	人工透析装置増設(49床→52床)
平成18年 4月	「柏崎市中地域包括支援センター」柏崎市委託事業開設
平成19年 4月	「柏崎休日・夜間急患センター」柏崎市委託事業開設
平成21年 4月	病床数変更 440床→420床(一般)
平成21年 5月	回復期リハビリテーション病棟 45床
平成24年 4月	病院名変更「柏崎総合医療センター」 がん診療連携拠点病院に準じる病院に認定 DPC対象病院
平成24年 7月	DMAT指定医療機関
平成26年10月	病床数変更 420床→400床(一般)
平成27年 4月	福祉連携センター設置
平成27年11月	増築工事(化学療法センター、健診センター等)
平成31年 4月	【8代目院長】相田浩就任
令和 2年 9月	原子力災害医療協力機関
令和 3年10月	病児保育「びっころ」柏崎市委託事業開設



施設認定

- 日本整形外科学会専門医制度による研修施設
- 日本外科学会専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本血液学会専門研修教育施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本透析医学会教育関連施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本周産期・新生児医学会認定施設(母体・胎児)
- 日本がん治療認定研修施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本肝臓学会会関連施設
- 日本脊柱脊髄病学会椎間板酸素注入療法実施可能施設
- 日本産科婦人科学会専門医研修連携施設
- 日本消化器内視鏡学会指導連携施設

柏崎市について

山と海に囲まれて、四季折々の自然を楽しめる多彩なイベントが楽しめます。



えんまし **6月**

毎年500以上の露天が立ち並びます。



7月～8月

海水浴場

42kmの長い海岸線に15もの海水浴場が!



お花見 **4月**

赤坂山公園観桜会



7月

ぎおん柏崎まつり

越後三大花火のひとつとして、ぎおん柏崎まつりのフィナーレを飾る「海の大火花大会」。海空大スターマインは大迫力です。



柏崎 鯛茶漬

全国区のご当地グルメ

柏崎のゆるキャラ「えちゴン」



11月

紅葉狩り

松雲山荘ライトアップ



交通アクセス



自家用車をご利用の場合


北陸自動車道、柏崎ICから約5分。
柏崎市街地方面にお進みいただき、3つ目の信号を左折、すぐの信号を右折すると病院が見えます。

電車をご利用の場合

JR柏崎駅からタクシーで約10分。
JR柏崎駅から越後交通バスで約15分。
柏崎総合医療センター線 病院前下車。

 新潟県厚生農業協同組合連合会 **柏崎総合医療センター** 〒945-8535 新潟県柏崎市北半田2丁目11番3号

 **0257-23-2165** (代表)  **0257-22-0834**

 柏崎総合医療センター <https://www.kashiwazaki-ghmc.jp/>